

# NPO法人 通信 第13号

## ★巻頭言

---

日頃より、**NPO 法人道**の活動にご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。昨年度は10月に、常設の店舗「MICHINO ICHI」をスタートさせました。平日は野菜を中心に販売しておりますが、新たに鎌倉市農協連即売所の「工房匠」さんや「鎌倉ガーデンファーム」さんから鎌倉野菜の提供を受け、大変好評を博しております。

さて、最近手にした本に鈴木隆雄著『骨から見た日本人 古病理が語る歴史』があります。骨に刻まれた病気を読み取り、日本の社会構造を明らかにするというものです。その中で、縄文時代のある貝塚からポリオの後遺症と思われ四肢に麻痺のある若い女性の骨の話が述べられています。この若い女性は幼少期より四肢の筋を動かすことができず、四肢骨の発達が遅滞しただけでなく退化現象をおこし、成人に達する長い年月を麻痺したまま寝たきりの状態で過ごした様です。この例は、縄文時代にあっても周囲の手厚い保護と介助を必要とした身体障害者をすでに当時の人々が受け入れていたことを立証していると述べられています。日本人の障害者とその介護にたいする精神世界と社会構造を知る上で貴重な証人としています。

新保 哲氏は『日本の福祉思想』の中で、「福祉技術・福祉政策がいかに高度に発達し、それに精通しても、われわれが如何に福祉に恵まれた生活を送れるかは決定的ではない」と述べています。

**NPO 法人道**は、「巧詐は拙誠にしかず」を旨とし、福祉のあるべき姿を慎みて怠ることなく求めて参りたいと思います。

平成 27 年 首夏 岩立実勇

---